



## ANALISIS KESALAHAN PENGGUNAAN KATA KERJA KAUSATIF DALAM KALIMAT BAHASA JEPANG UNNES

(日本語文における使役動詞使用の誤用分析)

Ivond Mangerongkonda ✉

Jurusan Bahasa dan Sastra Asing, Fakultas Bahasa dan Seni, Universitas Negeri Semarang, Indonesia

### Info Artikel

*Sejarah Artikel:*

Diterima April 2013  
Disetujui April 2013  
Dipublikasikan April 2013

*Keywords:*

analisis, kesalahan, kata kerja kausatif

### Abstrak

Kata kerja bahasa Jepang disebut *dooshi*. *Dooshi* merupakan salah satu kelas kata dalam bahasa Jepang. Salah satu kata kerja dalam bahasa Jepang adalah *shieki*. *Shieki* dalam bahasa Jepang merupakan salah satu kata kerja yang bermakna menyuruh atau membuat seseorang melakukan suatu aktivitas. Setelah melakukan studi pendahuluan pada mahasiswa semester VI disalah satu kelas *bunpou*, hasilnya menunjukkan bahwa hampir seluruh mahasiswa merasa kesulitan dan melakukan kesalahan dalam menggunakan kata kerja kausatif. Permasalahan dalam penelitian ini adalah kesalahan apa saja yang dialami mahasiswa pada saat menggunakan kata kerja kausatif dan faktor penyebab kesalahan dalam menggunakan kata kerja kausatif. Tujuan penelitian ini adalah untuk mengetahui kesalahan dan faktor penyebab kesalahan yang mempengaruhi mahasiswa menggunakan kata kerja kausatif.

© 2013 Universitas Negeri Semarang

✉ Alamat korespondensi:  
Gedung B4 Lantai 1 FBS Unnes  
Kampus Sekaran, Gunungpati, Semarang, 50229  
E-mail: pbjunnes@gmail.com

## 背景

「動詞」は、日本語における品詞分類の一つである。日本語動詞の一つは使役形である。使役とは「(人)に～をさせる」という意味のことをいいます。型は<let+目的語+原形不定詞 (動詞の原形)>で、それで「(目的語)」に(原形不定詞)をさせる」という意味なる。次のような使役動詞の機能を少しご紹介します。

### 1. 「letの使い方」

「let」は、「相手が～従っている」場合に許可する場合、あるいは「自分」が「～したいので」相手に許可を得る場合に使用する動詞である。

**例文:** 彼は私に彼の携帯電話を使用させた。

### 2. 「makeの使い方」

[Make] は [相手がしたいと思っていない場合に強制的に何かをさせる場合]に使用する単語である。

**例文:** 病気のため私は彼を家に帰らせた。

### 3. 「haveの使い方」

[have]は「何かを頼む場合にやってもらえる場合、頼めば当然してもらえる場合」に使用する単語である。

つまり、[have]には「強制的に何かをやってもらおう」と意味がないのですが、「当然頼めばしてもらえる場合」というのは、一方的に「やってもらえると考えているが、相手の気持ちを確認出来ていない場合」であるので、少し微妙ではあると思う。

しかし、相手の気持ちは考えなくても使える表現であるので、一番使いやすい単語と言えらると思う。

**例文:** 私は弟に壁のペンキを塗らせました。

<http://www.englishcafe.jp/english/day45.html>

スマラン国立大学日本語教育プログラムの6学期に観察に基づいて、学習者が使役の動詞を変える時に困難である。動詞の変化だけで

はなく、学習者は助詞を使用するのが困りました。そのことなので、学習者が使役動詞に対して、誤用した。それで研究者は、“日本語文における使役動詞使用の誤用について研究したいと思う。

## 基礎的な理論

### a. 文法の意味

文法とは、ある言語において、正しい『文』を作る際に共有されているルールである。(文法を教える (2010 :3) ) .

### b. 日本語の品詞

1. 動詞
2. 一形容詞
3. な一形容詞
4. 名詞
5. 連体詞
6. 副詞
7. 感動詞
8. 接続詞
9. 助動詞
10. 助詞

### c. 動詞の意味

動詞は動きや変化や状態を表す、文の述語となることを主要な機能となる。活用をもちや、ヴォイス、アスペクト、むうどなどの文法カテゴリにしたがってへんかする。(日本語の教育学会 (2005:69) ).

### d. 日本語動詞の種類

1. 自動詞
2. 他動詞
3. 所動詞
4. 複合動詞
5. 派生語としての動詞
6. 補助動詞

### e. 使役動詞の意味

使役とは「(人)に～をさせる」という意味のことをいいます。型は<let+目的語+原形不定(動詞の原形)>で、それで「(目的語)」に(原形不定詞)をさせる」という意味なる。

f. 使役動詞の文型

1. ～は～をさせる

例：部長はジョンさんをジャカルタへ出張させる。

2. ～を～させる

例：コピをとらせる。

g. 使役動詞の種類

1. 自動詞

例：息子をイギリスへ留学させる。

2. 他動詞

例：娘にダンスをならわせる。

h. 使役動詞機能

1. 強制表す動詞

例：父は兄に一生懸命勉強させる。

2. 許可 やさしさを表す動詞

例：先生は子供たちを遊ばせた。

3. 誘発表す動詞

例：ジョナスさんは面白いことをして子供たちを笑わせた。

4. 気持ちや感情を表す動詞

例：ミラーさんが親を安心させる。

i. 誤用分析

しんぱん教育辞典(2005:169) によって、誤用研究学習者がおこす誤りについて、どのような誤用が存在するのか、どうして誤りをおこすのか、どのように訂正すればよいかなどを考え、日本語教育、日本語学習などに役立つとする原因である。

## 研究の方法

a. 研究のアプローチ

本研究では定量的な記述的質的方法に非実験的なアプローチを使用していた。

b. 被験者とサンプル

本研究の対者 6 学期のスマラン国立大学日本語教育プログラムの学生学年2011/2012 である。文法演習の授業を取っている学習者は 57 人いる。10 人は実験をした。47 人はデータのサンプルとして取得できるテストのサンプルだった。

c. データ収集

データを集めるために、二つの方法を使用した。それはテストとアンケートである。

1) テスト

日本語の文で使役動詞を使用して障害に関するデータを取得するために使用される。

2) アンケート

日本語の文で使役動詞を使用する際のエラー要因を取得する。

d. 妥当性と信頼性

1) 妥当性

この研究で使用されているコンテンツの有効性が妥当。試験計器の内容妥当性は、専門家の講師や講師に相談する計器の内容でテストされている。

2) 信頼性

本研究で与えたテストは信頼性があるかどうかを知るために、2012年7月3日に10人の生徒に協力してもらい、テストを試みた。

## データ分析

本研究の結果は次の通りである。使役「に」、「が」、「を」助詞を選ぶ誤用であり、使役動詞の変化誤用である。使役自動詞と使役他動詞の助詞の使用誤用である。

## 結論

本研究の結果は、次のようである。

1. 学習者が誤用したのは使役動詞における「に」、「が」、「を」の助詞使用のことであり、使役動詞の変化誤用であり、守護決定する誤りであり、使役自動詞と使役他動詞助詞の誤用である。

2. 誤用の原因

学習者は使役動詞を日常会話であまり運用しない。使役を作っている時、可能形と受身に影響される。それから、使役動詞が分からない時、先生に聞かなかつた。つまり、

学習者が文法の能力をあまり持たなく、特に助詞、動詞変化の使役である。

#### DAFTAR PUSTAKA

- Shino, T. et al. 2000. 日本語ハンドブック. Tokyo: 3A Corporation.
- Etsuko, T dan Masako. W. 2004. 日本語文法ポイント20. Japan: 3A Corporation.
- The Nagoya YWCA, 2004. わかって使える日本語. Tokyo: 3A Corporation.
- Sutedi, Dedi. 2009. *Penelitian Pendidikan Bahasa Jepang*. Bandung: Humaniora.
- Minna No Nihongo II*. 2008. Tokyo : 3A Network
- Tarigan, Djago dan Lilis Siti Sulistyarningsih. 1997. *Analisis Kesalahan Bahasa Jakarta : Departemen Pendidikan dan Kebudayaan*.
- Isao, Iori, dkk. 2001. 日本語文法ハンドブック. Tokyo :3A Corporation.
- Dahidi, Ahmad danSudjianto. 2007. *Pengantar Linguistik Bahasa Jepang*. Jakarta : Kesaint Blanc
- Arikunto, Suharsimi. 2006. *Prosedur Penelitian Suatu Pendekatan Praktik*. Jakarta : Rineka Cipta.
- Ogawa, Y. 1982. *Nihongo Kyouiku Jiten*. Tokyo : Daishukanshotan
- Sutedi, Dedi. 2007. *Nihongo no Bunpou*. Bandung :Humaniora
- Isao, Iori. 2001. 新しい日本語学入門. Tokyo :3A Corporation.
- Kokusai Kouryu Kikin. 2010. *Bunpou Wo Oshieru*. Tokyo : Hitsuji Shoubou